資料１

元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま



夏休み自由研究企画「乗リエンテーリング」審査会の概要

令和８年10月16日（金）

広島県公共交通政策課

企画の概要

元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

項目	内容
名称	めざせ！親子で乗ってミッションクリア！乗リエンテーリング
実施期間	令和８年７月18日～８月31日（＝夏休み期間）
対象エリア	県内全域
対象公共交通機関	県内全ての公共交通機関（バス、旅客船、鉄道・軌道、タクシー）
対象者	県内小学生　約14万人 （義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部の児童含む）
本取組の位置づけ	学校を経由して児童に紹介する自由研究の一つ（≠宿題）
協賛企業	カゴメ㈱中四国支店、㈱サンフレッチェ広島、フマキラー㈱、ポッカサッポロフード＆ビバレッジ㈱、三菱食品㈱
ルール	・保護者と公共交通機関を利用して、施設を訪問しミッションに挑戦し、シールを集めること （協力施設は県内87施設） ・ミッションへの挑戦により入手したシールを解答用紙に貼付し、ミッションの解答、移動手段などを記載すること ・公共交通に乗って感じたことや新たに発見したことについて、乗りポート（体験記）を提出すること　等
提出物	①解答用紙（シール3点以上）　②乗リポート
表彰	提出作品の中から審査の上、特選、入選、特別賞により表彰 特別賞は、広島県知事賞、広島県教育委員会賞、バス・旅客船・地方鉄道の各協会長賞等

企画への参加状況・課題提出結果について

元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

参加状況

■ 保護者の各スポットでのQR読み込みによる捕捉データは以下のとおり。

企画への参加者　　274人
スポットへの延べ訪問数　754回

■ スポットへの訪問については、居住市町ではないスポットへの訪問が6割を超えており、**広域的な移動需要の創出**につながったものと受け止めている。

（スポットへの訪問内訳）

居住市町ではないスポットへの訪問	**492回（65.2%）**
居住市町内のスポット訪問	262回（34.8%）
計	754回

課題提出結果

■ **64人から提出があった。（３か所以上のスポットを訪問＋体験記作成）**

（小学１・２年生の部　26人
小学３・４年生の部　20人
小学５・６年生の部　18人）

■ 提出作品からは、毎週スポットを訪問し、たくさんのミッションに挑戦している様子や、いろんなの交通モード・事業者を利用しようとしている様子がうかがえ、**企画を通じて楽しく公共交通に触れてもらったものと受け止めている。**

表彰までの流れ

元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

済

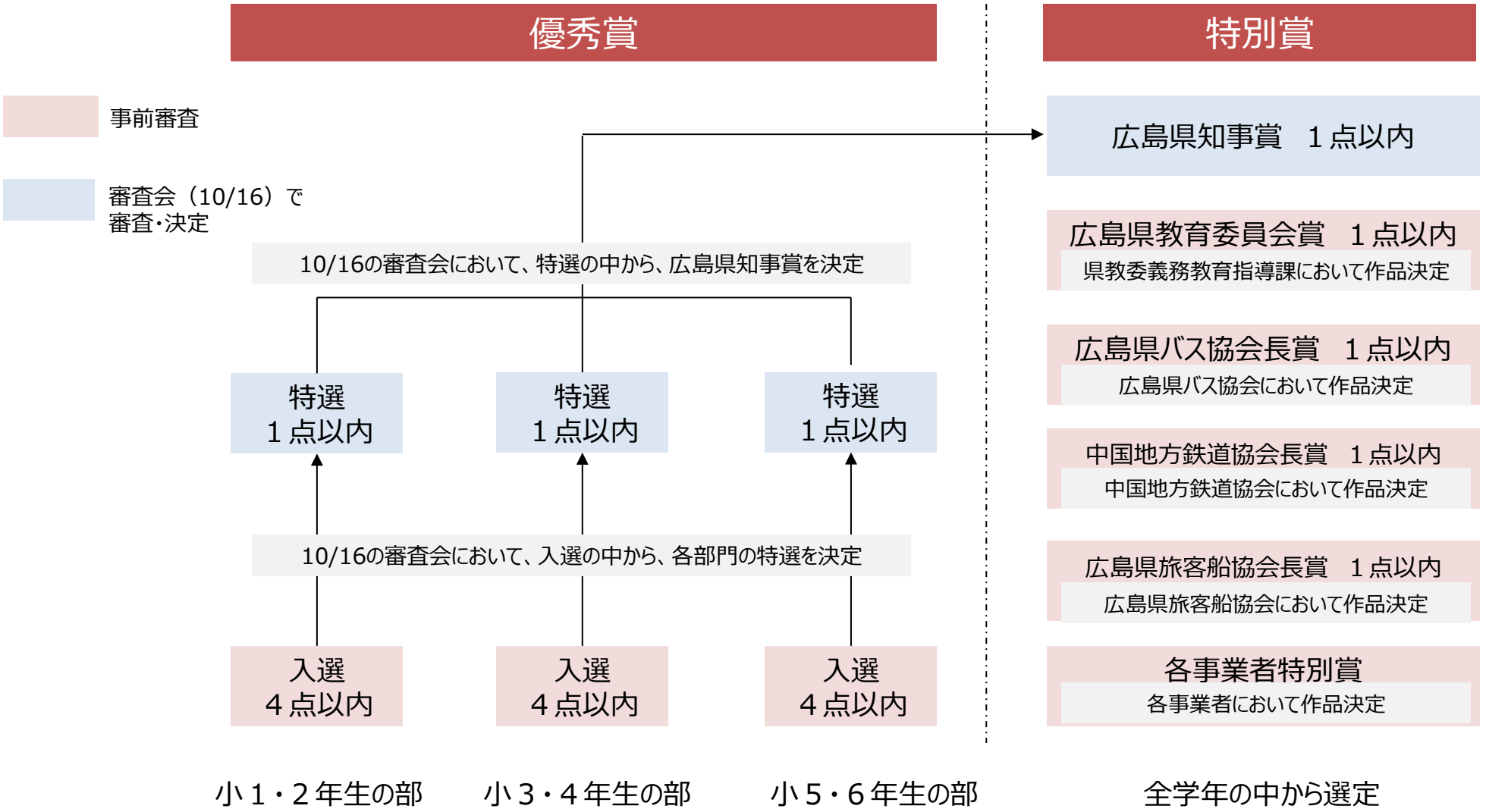
～10月 8日（木）　事前審査（入選作品）
審査（県教育委員会賞・協会長賞・事業者特別賞等）

10月16日（金）　審査会
■事前審査の結果を共有
■入選、特選及び県知事賞等の受賞作品を最終決定

審査会後～表彰式　表彰児童への連絡・プレスリリース
■表彰児童・各学校への連絡
■表彰式におけるメディアの露出が獲得できるよう、プレスリリースを実施

11月 8日（日）　表彰式
■ひろしまバスまつり（@ひろしまゲートパーク）において、表彰式を実施

表彰体系・選出方法について



審査の観点

提出物	項目	視点
1 乗リポート	題（タイトル）	・「行程」、「お気に入りになった理由」に記載される内容を端的に表す「題（タイトル）」となっているか。 ・内容を読んでみたくなるような、「題（タイトル）」となっているか。
	行程	・乗った場所、乗ったもの、目的地までの行程が一目でわかるものとなっているか。
	お気に入りになった理由	・夏休みの自らの体験に即して、公共交通に乗った際の発見や、挑戦したミッションについて記載されているか。 ・絵や写真を効果的に使っているか。 ・独自性があるか。
2 ミッション解答用紙	シール	・貼付されているシールの枚数や訪問したミッションスポットの所在地等から、夏休み期間を通して本人が乗リエンテーリングを楽しんだ様子がうかがえるか。
	乗ったもの	・公共交通機関を利用して出発地から目的地まで移動しているか。 ・複数種類の公共交通機関を利用し、特性の異なる乗りものを体験しているか。
3 全体的な印象	・2 点の提出物について、創造性、全体の印象が優れているか。 ・本人が乗リエンテーリングを楽しんだ様子がうかがえるか。 ・事前に時刻表や乗り方を調べる、利用する中で新たな発見を得るなど、今回の体験を通じて、今後の利用につながる意思や行動が生まれているか。 ・同学年の他者から見て、参考にして公共交通機関を利用してみたいと思うような、楽しいあるいは学びのある内容になっているか。	

事前投票でいただいたコメント（一部抜粋）

元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

各部審査におけるコメント（原文ママ）		企画全体を通してのコメント（原文ママ）
小学１・２年生の部	• 数多くのミッションに取り組み、乗リエンテーリングを楽しんだ様子がうかがえる。 • 低学年とは思えないくらい好奇心満載の資料になっており、大変楽しく拝見させていただきました。 • 普段はあまり利用しない公共交通に乗って、乗ること自体の楽しさを実感した様子が伝わってくる。	• 全体的に乗り物への愛がみえる作品が良かったです。みていて出かけたくなる素晴らしい作品が幾つもあって、素晴らしい企画でした • この企画は、今年が初めてのものでしたが、多くの乗リポートが出され、その中で、公共交通ならではの移動の楽しみ（視点場の違い、家族との会話、運行現場の様子・気づき）が認められたことから、是非とも、次年度も実施し、乗る楽しみ・行く楽しみを、子どもたちに体験してもらいたいと思いました。 • おそらく、多くの作品が親子で行ったと思われるが、当初意図していた、親子で公共交通について触れる機会を創出することを発揮できたのではないか．学校ぐるみでの応募への発展可能性があり、今後実施するなら、学校を巻き込んで拡がっていく可能性を感じました． • 出会う方（運転手、他のお客様）への配慮など子どもたちの健全育成には良い企画であった事がわかりました。
小学３・４年生の部	• この学年になると、しっかりと行程を示してくれており、全般的に乗リポートとしての完成度は高いと思いました。 • 観光モデルコースになるような作品があり旅をしている気分を味わえた。 • 公共交通を使って一日で多くのミッションにチャレンジしたり、新しいルートの発見や、船上から同じ型の船を見つけるなど、興味が広がっており、今後も乗りたくなった気持ちが伝わってくる。	
小学５・６年生の部	• 事前に時刻表や乗り方を調べるなど、今回の体験を通じて、今後の利用につながる意思が生まれている。 • いつもの車での移動を公共交通に切り替えて移動することで、新たな発見を体験できている。盛りだくさんの訪問先を公共交通で移動し、その中に入船山記念館があるのがクール。船移動を組み合わせて広島の特色である瀬戸内を体感している。 • 公共交通の種類に応じた楽しみ方や利点、逆に使いにくさにも具体的に気づいた作品があり、その中で、運転の苦労や感謝の気持ちまで表現されている点が印象に残った。	

本日の審査会において決定すること

